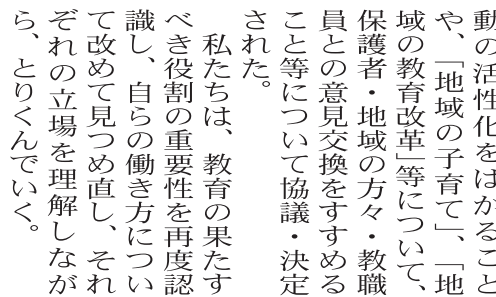


ゆたかな教育の創造をめざす 第35回総会 兵庫県民会議(教育創造県民会議)

7月21日、ラッセホールで「ゆたかな教育の創造をめざす兵庫県民会議」(略称・教育創造県民会議)第35回総会が開かれた。

福永明代表委員(連合兵庫会長)のあいさつの後、今後の活動方針や24年度決算と予算、役員を選出について協議し、承認された。その後、昨年県内4つめの夜間中学校として開校した姫路市立あかつき中学校校長の山下雅道さんより「あかつき中のレゾナントル」をテーマに講演があった。そして五百住満代表委員の閉会のあいさつで会が締めくくられた。



総会では、子どもたちをとりまく現状と課題にもとづいて活動方針が提起され、今後の具体的な活動について協議された。

具体的な活動については、教育の地方分権を具体化する「教育創造県民会議」の地域組織である「教育創造地域(地区)会議」の県内全地域での設立と活動の活性化をはかることや、「地域の子育て」、「地域の教育改革」等について、保護者・地域の方々・教職員との意見交換をすすめること等について協議・決定された。

私たちは、教育の果たすべき役割の重要性を再度認識し、自らの働き方について改めて見直し、それぞれの立場を理解しながら、とりくんでいく。

教育創造県民会議とは

「ゆたかな教育の創造をめざす兵庫県民会議」(略称「教育創造県民会議」)は、連合結成にもなう教育運動センターとして、1990年12月14日に、それまでの「民主教育をすすめる兵庫県民連合」(1976年発足)を再編改組して発足した。地域・家庭・学校が一体となって相互に連携し、「21世紀のゆたかな教育の創造」にむけ、地域の保護者・労働者・教職員・県民が連帯を深めながら、家庭や地域の教育力の活性化と子どもたちの人間的な成長をめざしている。

また、国際化・情報化

福永代表委員あいさつ

教育創造県民会議は、地域・家庭・学校・教育行政が相互に連携し、時代の変化に適用した兵庫の教育のあるべき姿を追い求め、子どもたちの教育条件の整備、人間的な成長をめざすとともに、学校の働き方改革の進展をもとめている。そのためには、貧困の連鎖を断ち切ること、魅力ある学校現場の実現の2点が重要である。

日本は、GDPに占める公的教育費の割合がOECDの平均を下回る。教育機会の均等のため、すべての教育にかかる費用を無償化し、社会全体で子どもたちの学びをささえる必要がある。

五百住代表委員あいさつ

7・8月にパリオリンピック・パラリンピックが開催されるが、このスポーツの祭典は、人権、平和、多様性、共生を理念・基調としている。世界・日本に

領にむけての働きかけ、「平和な未来を子どもたちに届ける必要性」等々、多岐に渡っていた。これだけ多くの意見が出るということは、今の学校現場の抱える教育課題が複雑かつ多様化している証である。その解決にむけて、やはり日政連議員と連携し国会対策をより強化していかなければならない。

子どものゆたかな学びと育ちの保障につながる持続可能な学校の実現にむけて、今こそ教職員の長時間労働を是正し、いのちと健康を守るため、組合員一人ひとりの切なる思いを結集し、とりくみを一歩前にすすめていけるよう、ともにがんばろう。

まず、地域や保護者としっかりと繋がり連携して、信頼される教育や運動を展開していくことが重要である。

三田市議会議員選挙 立候補予定者 兵教組推薦決定!

(9月29日投票予定)

やまさき 山崎たけし

【学歴】三田市立三輪小、三田学園中・高等学校、兵庫教育大学学校教育学部、関西学院大学院総合政策研究科

【職歴】ガーナ現地高校数学教員、ガーナ教育省教師教育局(JICA専門家2年)、イギリス・現地中高一貫校、三田市小学校教員30年(高平小・母子小・三田小・三輪小・すずかけ台小・けやき台小)

【所属・経歴】三田市国際交流協会会員、青年海外協力隊兵庫県OB会会員、三田市教職員組合前執行副委員長等

日教組 第167回中央委員会



討論(抜粋)

深江中央執行委員

22―23年度日教組青年部長として、全国、そして世界の仲間と出会い、交流した中で得た学びや経験を支部・単組・全国の青年に

「兵教組は、今後も組合活動の見え方・見よう化」をすすめる、私たちが大切にしていく運動への理解・共感を得ながら、とり

くみを見せることで、組合についての理解と共感、そして組合への参加につながることを考える。これは、政策・制度要求

「兵教組は、今後も組合活動の見え方・見よう化」をすすめる、私たちが大切にしていく運動への理解・共感を得ながら、とり

くみを見せることで、組合についての理解と共感、そして組合への参加につながることを考える。これは、政策・制度要求

くみを見せることで、組合についての理解と共感、そして組合への参加につながることを考える。これは、政策・制度要求

くみを見せることで、組合についての理解と共感、そして組合への参加につながることを考える。これは、政策・制度要求

7月18日、日本教育会館において、日教組第167回中央委員会が開催された。中央委員会では、経過報告と当面する運動方針・予算案等が提案された。また、兵教組から深江中央執行委員が組織拡大・強化の観点から討論に参加した。(抜粋)

還流することで、組織強化にとりくんできた。組織拡大に対して、「みんな入っているから」という誘いが通じなくなってきた」とよく言うが、私は少し違うと考える。多くの情報

報が錯綜し、その情報をすぐ得られる時代に生きる若い世代は、自分が知らないもの・よくわからないものに対して忌避感を抱く。組合について少しの情報だけで先入観をもっている人も多くいるが、何かなんでも嫌だと思っているわけではない。きちんと説明し、とりくみを見せることで、

兵教組多紀教職員組合 林 達雄さん

日教組第167回中央委員会に参加させていただき、全国各地の教職員未配置の増加による影響等、厳しい教育現場の実態を改めて感じた。

一般経過報告並びに当面のとりくみに関する議案では、日教組の当面の運動に対して、各単組より多くの質疑・意見があり、活発な議論がおこなわれた。その内容は、「総業務量の削減等、働き方改革の推進」、「教職員定数の改善」、「教職員

のなり手不足の解消」、「部活動の地域移行への具体策」、「カリキュラム・オーダー教育への対応」、「デジタル教育導入にともなう子どもたちに生じた影響への対応」、「次期学習指導要

領にむけての働きかけ、「平和な未来を子どもたちに届ける必要性」等々、多岐に渡っていた。これだけ多くの意見が出るということは、今の学校現場の抱える教育課題が複雑かつ多様化している証である。その解決にむけて、やはり日政連議員と連携し国会対策をより強化していかなければならない。

子どものゆたかな学びと育ちの保障につながる持続可能な学校の実現にむけて、今こそ教職員の長時間労働を是正し、いのちと健康を守るため、組合員一人ひとりの切なる思いを結集し、とりくみを一歩前にすすめていけるよう、ともにがんばろう。



発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10-8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合 代表者 森戸卓也
編集人 福山香織
電話 050(3538)2346
1部15円 年定価360円
(組合員の購読料は組合費の中に含む)

2024/8・1 No.2098



参加者報告

兵教組多紀教職員組合 林 達雄さん

兵政連一同

日頃のご支援に感謝申し上げます。今後も仲間とともに懸命の努力を続けてまいります。変わらぬご厚情をお願いいたします。

暑中お見舞い申し上げます。

兵政連一同

 ひわだ充 (三田市議会議員)	 おくの尚美 (西宮市議会議員)	 小西ひろのり (兵庫県議会議員【西宮市】)	 みずおか俊一 (参議院議員)
 古田ひろあき (三木市議会議員)	 竹内きよ子 (明石市議会議員)	 やのこうじ (神戸市議会議員【東灘区】)	 おきしお守彦 (太子町長)
 土井たくみ (南あわじ市議会議員)	 三木浩一 (たつの市議会議員)	 北野さと子 (三木市議会議員)	 岸田まさと (伊丹市議会議員)



「夏の宝物」

たつの市立新宮中学校
3年 長谷川 碧

「子どもの詩と絵 第44集」より

参加者アンケートより

- ・自分の地域のことだけでなく、他地域のことにもアンテナをはる必要があると再確認した。
- ・PHR健康情報は困る。健康診断の個人情報扱いは、学校保健法の目的以外に使用してはいけない。今でも管理が大変な



安村日教組養護教員部長

シンポジウム

シンポジウムの様子



【全体を通じて】

- ・直接顔を合わせ、話を聞くことの良さを改めて感じた。



分科会の様子

【第1分科会】

- ・他市町の現状やとりくみ、自分の知らなかった知識をたくさん学ぶことができ、勉強になった。

【第2分科会】

- ・地域によって、それぞれの実態や課題へのとりくみがあり、これからの実践に活かしたいと思っ

【第3分科会】

- ・久しぶりの参加であった。地域組合でも還流はあるが、実際にお話を聞くとわかりやすかった。

養護教員部 第64回サマーセミナー

7月24日、ラッセホールで養護教員部第64回サマーセミナーが開催され、オンラインを含め、約120人が参加した。



大矢さんによるレポート報告

濱口雅代さん(南あわじ)によるシンポジウムがおこなわれた。
午後は、安村美代日教組養護教員部長の中央情勢報告の後、3つの分科会にわかれて討議がおこなわれた。

参加者アンケートより

- ・シンプジストの実体験を聞き、いざという時に動けるよう平時からどう備えるべきか考える機会となった。
- ・貴重な体験や自校での防災について考える機会となった。

参加者アンケートより

- ・シンプジストの実体験を聞き、いざという時に動けるよう平時からどう備えるべきか考える機会となった。
- ・貴重な体験や自校での防災について考える機会となった。

防災学習の大切さについて報告があった。
災害時の学校の役割や、教職員が担うもの、教訓からの備え等について考える機会となった。

分科会

【第1分科会】「子どもの悩みや問題点にふれて」、第2分科会「子どもの健康権の確立について」、第3分科会「養護教員部運動の強化発展のために」をテーマにレポートをもとに協議がおこなわれた。

のに、漏洩してしまった場合は、国・業者が責任をとってくれるのか。

第74次兵庫県教育研究集会

11月9日：分科会 10日：全体会 神戸市内で開催

11月10日

教育シンポジウム 10:00-12:00

「子どもと災害にどうむき合うか」
～もし2030年に巨大地震が起きたら?～

展示・体験コーナー 9:30-12:30

5年ぶりにリニューアルして復活!!

- ・「防災」をテーマに10の展示と6つの体験コーナーを計画中!
- ・子どももあとなも一緒に学び・楽しもう

10月27日

プレフェスティバル 14:00開演

子どもと親の劇場(一社)貞松・浜田バレエ団公演
『動物のカーニバル・白鳥の湖・日本のバレエ(まつり)』

※詳細については、別途お知らせします。

夏休みファミリーパズル

まちがい探し

パズル制作：ひろみよこ

右と左の絵をよく見くらべると、違っているところが**10カ所**あります。

どちらかの絵に10カ所赤丸を入れ、切り取ってはがきに貼って送ってください。お名前、地域組合名、住所(郵便番号も)を明記の上、ご応募

ください。また、本紙の感想などお寄せください。**20人の方に粗品を差し上げます。**

締め切り：9月30日(消印有効)

あて先：〒650-0004 神戸市中央区中山手通4-10-8ラッセホール4F「教育ひょうご編集部」



教職員共済

教職員のためにつくられた特色ある制度

自動車共済

くるま通勤の方、必見!

全コース・全等級で

「公務使用中」の事故は **等級ダウンなし!**

さらに、補償充実コース・6等級以上で

「通勤中」の事故も **等級ダウンなし!**

※「通勤中」は1共済期間中1回のみ。

【お問い合わせ・資料請求は】

厚生労働省認可

教職員共済生活協同組合
兵庫県事業所

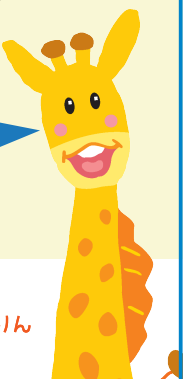
TEL:078-221-9730

〒650-0004

神戸市中央区中山手通4-10-8 ラッセホール4F



まずはお気軽に
資料請求を♪



■この広告は、教職員共済の自動車共済の概要を説明したものです。

■ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書(契約概要・注意喚起情報)をご覧ください。 承21-56-02(2107)

イメージキャラクターあむりん